

科目名	ITリテラシー							年度	2024	
英語科目名	IT Literacy							学期	前期	
学科・学年	ネットワークセキュリティ科	1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	東堂 隼平			教員の実務経験	有	実務経験の職種	システムエンジニア			

【科目の目的】

メディアリテラシーとインターネット理解に関する基本的な知識とスキルを習得することが目的です。現代社会では情報が溢れ、様々なメディアを通じて情報が発信される中で、正確な情報を見極め、適切に活用する力が求められています。また、インターネットの普及により情報の共有が容易になっていますが、同時にセキュリティ上の課題も増えています。本科目では、社会的な課題を理解し、倫理的に情報を取り扱うスキルを養い、安全にインターネットを活用できるようになることを目指します。

【科目の概要】

Windowsの基本設定、アナログとデジタルの違い、コンピューターでの情報の扱い、インターネットのしくみ、情報モラル、情報セキュリティ、著作権などの重要なトピックを取り上げます。講義やグループワークを通じて、学生が実際の問題に対して適切な対応ができるようになることを目指します。

【到達目標】

- A. パソコンの基本的な操作ができる
- B. メディアの種類と特性を理解できる
- C. インターネットのしくみや基本的なセキュリティ対策が理解できる
- D. 著作権についての基本的な知識を理解できる
- E. グループワークに参加し、コミュニケーションをとり、メディアの利活用ができる

【授業の注意点】

ノートパソコンを必ず持参すること。毎回の授業は、前回までの授業の内容が身につけていることを前提に行うため、必ず復習をすること。授業時間内に終わらなかった演習問題があった場合には、次の授業までに終わらせておくこと。特別な理由（路線の運休、法定伝染病など）のない遅刻や欠席は認められない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	パソコンの基本的な操作ができ、ブラインドタッチも素早くできる	パソコンの基本的な操作ができ、ブラインドタッチもできる	パソコンの基本的な操作ができる	パソコンの基本的な操作ができていない	パソコンの基本的な操作を理解する姿勢がない
到達目標 B	メディアの種類と特性を理解するだけでなく、記憶し、説明できる	メディアの種類と特性を理解するだけでなく、一部記憶し、説明できる	メディアの種類と特性を理解できる	メディアの種類と特性を理解できていない	メディアの種類と特性を理解する姿勢がない
到達目標 C	インターネットのしくみや基本的なセキュリティ対策が理解するだけでなく、記憶し、説明できる	インターネットのしくみや基本的なセキュリティ対策が理解するだけでなく、一部記憶し、説明できる	インターネットのしくみや基本的なセキュリティ対策が理解できる	インターネットのしくみや基本的なセキュリティ対策が理解できていない	インターネットのしくみや基本的なセキュリティ対策を理解する姿勢がない
到達目標 D	著作権についての基本的な知識を理解するだけでなく、記憶し、説明できる	著作権についての基本的な知識を理解するだけでなく、一部記憶し、説明できる	著作権についての基本的な知識を理解できる	著作権についての基本的な知識を理解できていない	著作権についての基本的な知識を理解する姿勢がない
到達目標 E	グループワークに率先して参加し、積極的にコミュニケーションをとり、メディアの利活用ができる	グループワークに参加し、積極的にコミュニケーションをとり、メディアの利活用ができる	グループワークに参加し、コミュニケーションをとり、メディアの利活用ができる	グループワークに参加し、コミュニケーションをとり、メディアの利活用ができていない	グループワークに参加する姿勢がなく、メディアの利活用も理解する姿勢がない

【教科書】

【改訂第2版】例題100でしっかり学ぶ メディアリテラシー 標準テキスト (技術評論社)

【参考資料】

特になし

【成績の評価方法・評価基準】

授業中の小テストやパフォーマンス課題等で評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ITリテラシー			年度	2024
英語表記		IT Literacy			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価	日
1	Windowsの初期設定	Windowsの起動と初期設定を完了しよう	1 起動・終了	Windowsの起動・終了方法が理解できる	2	
			2 Windows基本設定	基本的な初期設定を行う方法が理解できる		
			3 ログイン	ログインの方法が理解できる		
2	タイピング	タイピング練習をしよう	1 タイピングの基本	タイピングの基本的な方法を理解できる	2	
			2 タイピングの向上	タイピング速度と正確さを向上できる		
			3 ブラインドタッチ	ブラインドタッチを理解できる		
3	Windowsの基本操作①	Windowsの基本操作を理解しよう①	1 デスクトップ	デスクトップの基本的な要素を理解できる	2	
			2 ファイルの管理	ファイルの管理（作成、移動、削除）が理解できる		
			3 ウィンドウの操作	ウィンドウの操作（最小化、最大化、閉じる）が理解できる		
4	Windowsの基本操作②	Windowsの基本操作を理解しよう②	1 マルチタスク操作	複数のアプリケーションの同時使用が理解できる	2	
			2 システムの設定変更	コントロールパネルを活用してシステムの設定を変更できる		
			3 ショートカットキー	ショートカットキー（例：Ctrl + C, Ctrl + V）が理解できる		
5	メールの設定	メールの設定を行おう	1 アカウントの作成と設定	メールアカウントの作成と設定を理解できる	2	
			2 メール送受信	メールの送受信が理解できる		
			3 メール書き方	メールの書き方が理解できる		
6	LMS（学習管理システム）の設定	LMS（学習管理システム）の設定を行おう	1 ログイン	LMS（学習管理システム）へのログイン方法が理解できる	2	
			2 アクセス	コンテンツのアクセス方法が理解できる		
			3 通知設定	通知設定の方法が理解できる		
7	メディアを理解するための基礎知識	メディアを理解するための基礎知識について学ぼう	1 アナログとデジタル	アナログとデジタルについて理解できる	1	
			2 文字の扱い	コンピューターでの文字の扱いについて理解できる		
			3 画像・動画の扱い	コンピューターでの画像・動画の扱いについて理解できる		
8	インターネットを理解するための基礎知識	インターネットを理解するための基礎知識について学ぼう	1 インターネットのしくみ	インターネットのしくみについて理解できる	1	
			2 情報の検索と共有	情報の検索と共有について理解できる		
			3 インターネットのビジネス利用	インターネットのビジネス利用について理解できる		
9	情報モラルを理解する	情報モラルはどのようなものだろうか？	1 ネット時代のトラブル	ネット時代のトラブルについて理解できる	1	
			2 情報の信ぴょう性	情報の信ぴょう性について理解できる		
			3 情報の守秘義務	情報の守秘義務について理解できる		
10	コミュニケーションとメディアを理解する	コミュニケーションとメディアはどのようなものだろうか？	1 コミュニケーションとメディア	コミュニケーションとメディアについて理解できる	1	
			2 Webコミュニケーション	Webコミュニケーションについて理解できる		
			3 SNSコミュニケーション	SNSコミュニケーションについて理解できる		
11	情報セキュリティを理解する	情報セキュリティ関連法規はどのようなものだろうか？	1 セキュリティ対策の必要性	セキュリティ対策の必要性について理解できる	1	
			2 情報セキュリティ関連法規	情報セキュリティ関連法規について理解できる		
			3 コンピューター犯罪への対策	コンピューター犯罪への対策について理解できる		
12	著作権を理解する	著作権はどのようなものだろうか？	1 知的著作権	知的著作権について理解できる	1	
			2 プログラムに関する著作権	プログラムに関する著作権について理解できる		
			3 肖像権	肖像権について理解できる		
13	総合演習①	ITを活用したアイデアを考えよう（グループ分け・課題認識）	1 役割分担	メンバーの強みと得意分野を考慮して役割分担できる	2	
			2 意欲的な活動	グループ内で意欲的な活動ができる		
			3 課題認識	課題を洗い出すグループワークに参加できる		
14	総合演習②	ITを活用したアイデアを考えよう（企画立案・調査）	1 アイデアの企画立案	コンセプトのある企画立案ができる	2	
			2 調査	企画立案に必要な調査を行うことができる		
			3 発表の準備	発表の準備を適切に行うことができる		
15	総合演習③	ITを活用したアイデアを考えよう（報告書作成）	1 プレゼンテーション	意図が伝わるプレゼンテーションができる	2	
			2 フィードバック	他のチームに適切にフィードバックを行うことができる		
			3 改善点を考える	フィードバックをもとに改善点を考えることができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等